



トヨタ式農業カイゼン～新たな視点から展望する「農業」～ （令和3年度相馬地方スマート農業セミナー）の開催について

令和3年8月19日
福島県相双農林事務所

1 目的・概要

東日本大震災及び原子力災害から10年が経過し、相馬地方の農業は、農地に見合う労働力の確保と労働に見合う収益の確保が課題となっています。

このため、スマート農業の推進により、省力的かつ効率的に大規模な農地の面を埋めつつ、水稲と高収益作物の合理的な組合せによる持続可能な農業を展開し、営農再開の加速と農業生産基盤の強化を目的に、本セミナーを開催します。

2 内容

(1) 講演

演題：「トヨタ自動車の農業の取り組みについて」

講師：トヨタ自動車株式会社アグリバイオ事業部豊作計画推進室 灘波猛 主査

(2) 報告

内容：「水稲×大豆×タマネギ栽培体系」におけるスマート農業の実証について

説明者：相双農林事務所農業振興普及部 藤家

3 開催日時

令和3年8月27日（金）13：30～15：30

4 開催場所

福島県環境創造センター環境放射線センター大会議室

（住所：南相馬市原町区萱浜字巢掛場45-169）

※1 オンラインを併用

5 主催

相双農林事務所農業振興普及部

6 参加者

農業者及び関係機関・団体等

（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場定員30名程度、オンライン200名程度）

※2 会場参集は農業者のみ

※3 新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、中止とさせていただく場合がありますので、御承知おきください。

問い合わせ先

相双農林事務所農業振興普及部 副部長 氏家隆（うじいえ たかし）

電話直通 0244-26-1146

FAX 0244-26-1169

トヨタ式農業カイゼン～新たな視点から展望する「農業」～ (令和3年度相馬地方スマート農業セミナー) 開催要領

1 目 的

東日本大震災及び原子力災害から10年が経過し、相馬地域の農業は数少ない担い手により営農再開が進んできたものの、農地に見合う労働力の確保と労働に見合う収益の確保が課題となっている。

このため、スマート農業の推進により、省力的かつ効率的に大規模な農地の面を埋めつつ、水稻と高収益作物の合理的な組合せによる持続可能な農業を展開することで相馬地方の営農再開を加速させ農業生産基盤を強化するため、本セミナーを開催する。

2 主 催

福島県相双農林事務所農業振興普及部

3 日 時

令和3年8月27日(金) 13:30～15:30
(受付時間 13:00から)

4 場 所

福島県環境創造センター環境放射線センター大会議室
(住所) 南相馬市原町区萱浜字巢掛場45-169
(電話) 0244-32-0800
※1 オンラインを併用

5 内 容

- (1) 講 演 (13:40～14:40)
演 題: トヨタ自動車の農業の取り組みについて
講 師: トヨタ自動車株式会社アグリバイオ事業部豊作計画推進室 灘波 猛 主査
- (2) 報 告 (14:40～15:30)
内 容: 「水稻×大豆×タマネギ栽培体系」におけるスマート農業の実証について
説明者: 相双農林事務所農業振興普及部 藤家

6 参集範囲

農業者、市町村、農業協同組合、農業委員会、土地改良区、県等
(コロナウィルス感染拡大防止のため、会場定員30名程度、オンライン200名程度)
※2 会場参集は農業者のみ

7 問い合わせ先

相双農林事務所農業振興普及部 担当 藤家
(電 話) 0244-26-1149
(電子メール) fujie_ryousuke_01@pref.fukushima.lg.jp